

シルバーだより 柏崎

第115号 発行日 平成30年4月15日

発行 (公社) 柏崎市シルバー人材センター
〒945-0032
柏崎市田塚3丁目11番30号
TEL (0257) 24-2148(代)
FAX (0257) 22-2438
編集 同上 広報部会
印刷 (株) 小田

登録会員数 1,223人 男697人 女526人 3月末日現在



主な目次

理事長新年度挨拶	1
平成30年度目標額	2
柏崎市シルバー人材センターの組織	2
事務局長新年度挨拶	2
理事会だより	3
新部会の活動内容と 今年のテーマ	3~4
地区の動き	5
平成30年度主な行事予定	5
グリーン作戦実施	6~8
会員忘年会開催	9
シニア作品展・じまん展開催	9
ワークプラザ柏崎感謝祭開催	9
各種研修会報告	9
女性部会の活動報告	9
館林市SCへの視察	9
庭木班技能向上に向けての 取り組み	10
庭木・除草作業の見積・請求 方法の改正について	10~11
平成30年度定期総会案内	12
就業相談室	12
やまゆり通信	12
ボウリングで体力アップ	12
平成30年度年会費納入について	12
パソコン相談	12

基本は、安全・安心でより良い仕事をする精神の共有度を高めることです。会員のみならず平成三十年度も頑張りましたよ！

「やまゆり」のサロン機能、みんなの農場経営、買い物支援事業等、行政も民間も取り組みにくい隙間を埋め、地域の福祉に貢献する姿勢は、大いに評価されるべきものです。

四、家事援助・介護事業の貢献
全国一三〇〇SCの中で介護事業に参画するSCは、柏崎を含め四三しかありません。当SCの家事援助・介護の長年の経験を生かし、「新総合事業」にも参画しており、市当局から期待されています。

三、ボランティア意識の高さ
全国のSCが「やまゆり」を訪れ、一様に驚かれるのは会員の一割強の一三〇人程がボランティアで自主運営しているという実態です。買い物支援ボランティアをはじめ、多くの会員が町内や地域のために貢献する土壌あつての特色も誇ります。

二、女性会員の多さ
二二〇四人中女性五一九人(平成三十年一月)で、四三%と全国平均(三三%)に比べ驚愕の値です。女性活躍部会を立ち上げ、より一層活躍の場を広げます。



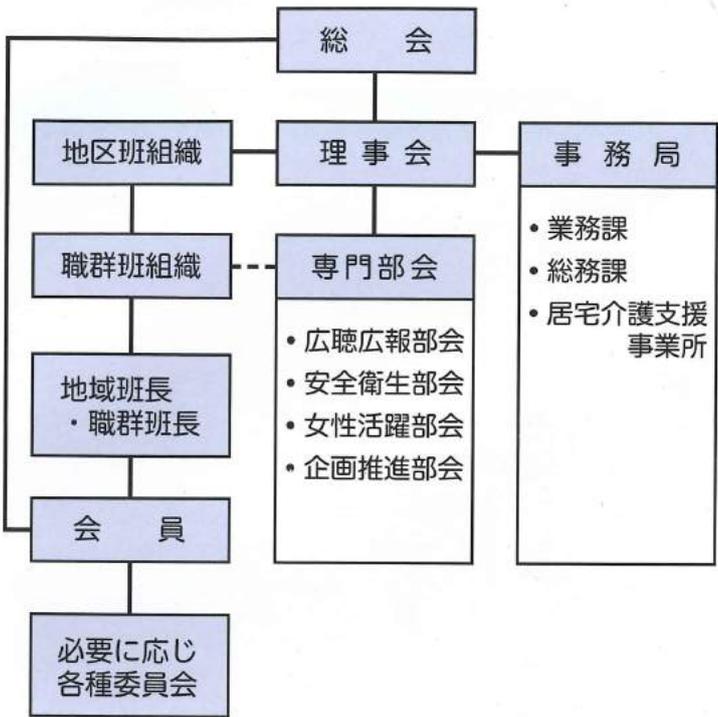
柏崎市SC五つの誇り

理事長 小林 和 徳

一、会員数二二〇〇人の安定度

月毎の入会者から退会者を差し引いても常に一二〇〇人程度をほぼ維持できる体制までできました。これは人口比で全国トップであり誇らしいことです。健康寿命延伸

柏崎市シルバー人材センターの組織



平成30年度目標額

受託事業利益	
受取配分金	279,310千円
受取材料費等	31,300千円
受取事務費	37,570千円
労働者派遣事業等受託収益	11,600千円
労働者派遣事業等就業延人員	18,000人日
介護保険事業収益	45,300千円
ワークプラザ柏崎事業収益	
受取使用料	10,182千円
独自事業収益	240千円

事務局長新年挨拶

「もうひとつの人生」

常務理事・事務局長

青木 健



平素よりシルバー事業の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

平成二九年度の初頭に政府の施政方針演説の中で、安倍首相が「シルバー人材センターの活用、支援」について歴史上初めて具体的な名称を出して発言されたことはまだ記憶に新しいものがあります。働き過ぎを抑制するため、国の「働き方改革」が進む一方で深刻な人手不足に悩まされている業界もあり、場合によっては人手不足が原因で会社や団体の規模を縮小、または廃業を余儀なくされるというケースも始めています。今後その穴を埋める存在は女性や外国人、元気な高齢者であると言われています。

そんな中、社会的認知度もあり、インフラもしっかり整備されているシルバー人材センターの活動は今後益々重要になってくることは言うまでもありません。しかし、

若い人と全く同じ働き方の出来る高齢者はそんなに多くいる訳ではありません。

体力の問題もあるでしょうし、現役を退いたからこそ出来る趣味や旅行、お孫さんの面倒を見たり、町内の仕事もあるでしょう。そのうえで余暇を利用して働くこと、多少の収入、健康、生きがい、社会貢献することで満足度などを得るのが「シルバー人材センター」だと思っています。

今までの人生に決別し、覚悟を持って「第二の人生」を行く...というよりも、様々なことを少しずつ実現する「もうひとつの人生」、いわゆるマルチタスクとでも言いましょうか、これを実践していただくことが出来る存在がシルバー人材センターではないかと考えるのです。

事務局では、旧態依然とした体制を改善し、今までのような事業の進め方から一歩踏み込んで、発注者と会員の働き方を根本から見直し、人材不足分野を埋めて行く「提案型の営業」を進めようとしています。

社会情勢に即応した運営を公民が連携し、会員、役員が一体となりじっくりと確実に取り組んでいくことが必要なのです。みなさまからの益々のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

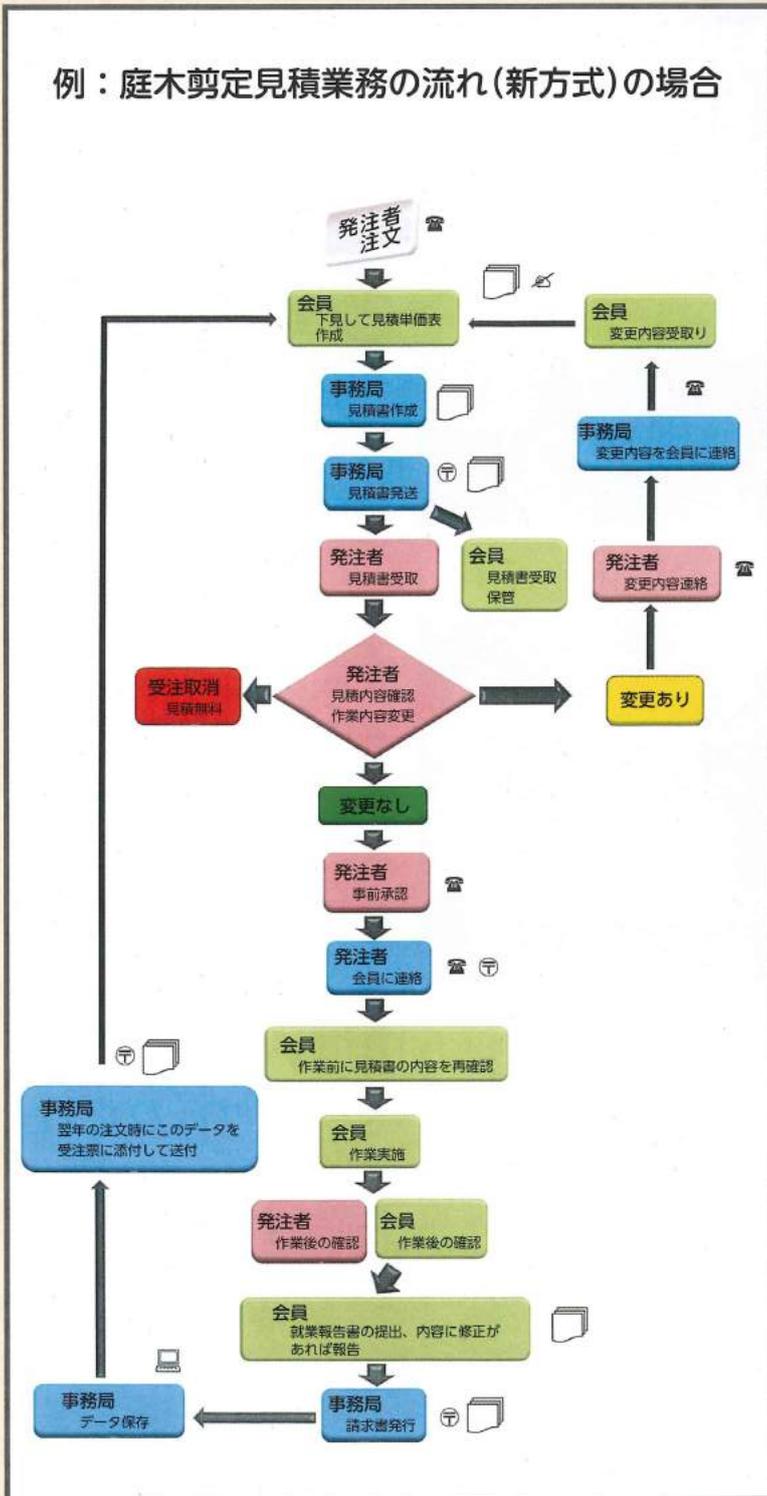
1 庭木・除草作業の見積・請求方法の改正について

適正就業第二ステージとして、現在、時間の積み上げで行っている見積、請求方法を、今後作業量（庭木は樹木の本数、垣根長さ等、除草は面積、形状等）に応じた積算基準表に基づく方法に徐々に切り換えていきたいと思っております。

これは、適正就業の考え方に基づく請負の考え方に添ったもので、昨年行った顧客満足度調査や日頃事務局に寄せられている声を反映し、新しい方式に改めるものです。コンプライアンス厳守、公益法人としての責任においても切り替えていく必要があります。

大きな変更です。とまどいも批判もあると思いますが、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

例：庭木剪定見積業務の流れ(新方式)の場合



▼今まで事務局に寄せられている発注者の声（顧客満足度調査を受けて）

- 毎年同じことを頼んでいるのに請求額が毎年違うのはおかしい。
- 人によって金額が変わるのはなぜか基準があいまいでわかりにくい。
- 班が変わると金額が変わるのはおかしいのではないかと。
- 仕事量の割に作業人数が多い。その分請求額が増える。
- 手の早い人も、遅い人も時間請求なので、金額に差がでる。
- 請求書がわかりにくい。

▼新しい方式のメリット

1. 作業前のある程度の金額を表示することが出来る。(事前見積り)
2. 同時期の同じ作業内容であれば、毎年金額はほぼ変わらない。
3. 作業や班が変わっても、金額は変わらない。
4. よって金額面での苦情は少なくなる。
5. 効率的に作業すれば、時間積み上げではないため、配分金は増える。
6. 適正就業の考え方に基づくものなのでシルバーの評価が上がる。
7. 班長でなくても事務方でも見積もりが出来る。
8. 金額を表示しての事前案内が可能となる（車の定期点検のようなイメージ）
9. 後継者育成のため初心者の実地研修が可能になる（請求額に反映しない）

▼スケジュール

- 29年度
- ・庭木・除草班積算基準検討委員会を立ち上げ、委員会で基準表の素案を作成。
 - ・サンプルデータを取り、現行の金額により近い基準表を作成する。
 - ・システム改良を行う。
 - ・庭木・除草班全体への説明。
- 30年度
- ・基準表に基づき全体で実地研修をして内部周知を行う。
 - ・新規の顧客は基準表による、見積・請求に切り替える。
 - ・既存の顧客は、31年度より実施。
 - ・31年度実施に向けて事前周知を行う。
- 31年度
- ・基準表による方法で実施後の問題点調整を行う。
- 32年度
- ・完全実施。



2 庭木班技能向上に向けての取り組み

今年度も昨年度に引き続き、各班の技能を平均的に一定レベルになるよう、独自の自主研修会を実施します。

庭木は今年度より、積算基準表に基づくやり方に徐々に切り換えて行くため、各班のレベルを一定にする必要があります。理事長から委嘱された、数名を庭木アドバイザーとして、各班にアドバイスに出向き、基本的なことを助言するものです。

具体的には・・・

1. 全体講習会の実施
全員に対して、基本的な手法について実施指導します。
2. 個別アドバイスの実施
各班を巡回し、個別にアドバイスを行います。アドバイス時に合わせ、安全パトロールも実施します。
3. 他の班のやり方を見学、意見交換を実施。
お互いの出来具合を別の班の方から見て評価してもらい意見交換を行います。
4. 全体の反省会を行います



以上のような計画で、今年度も実施しますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

❖❖ ホームページリニューアルしました ❖❖

会員向けのお知らせや受注情報も掲載しますので
ご覧になってください。(毎週水曜日更新)
アドレスは一頁下部に表示してあります。

おことわり

紙面の都合で
「就業体験」「めい人登場」
お休みします。

理事会だより

★二九年度第七回

二九年九月二六日(火)

議事

- 入退会者承認について(八月)
入会四人、退会五人、一人減
- その他
 - ❖部会の再編について
 - ❖最近の動向について
 - ❖その他

★二九年度第八回

二九年十月二六日(木)

議事

- 入退会者承認について(九月)
入会十六人、退会三人、七人減
- 専門部会設置規程の改正について
- 会員安全・適正就業確保に関する規程の改正について
- その他
 - ❖最近の動向について
 - ❖その他

★二九年度第九回

二九年十一月二七日(月)

議事

- 入退会者承認について(十月)
入会十五人、退会七人、八人増
- 報告事項

❖中間監査報告

❖「積算基準」について

❖最近の動向について

❖その他

★二九年度第十回

二九年十二月二六日(火)

議事

- 入退会者承認について(十一月)
入会十人、退会三人、七人増
- 個人情報保護に関する規程の改正について
- 育児・介護に関する規程の改正について
- 報告事項
- 最近の動向について
- ❖その他

★二九年度第十一回

三十年一月二六日(金)

議事

- 入退会者承認について(十二月)
入会三人、退会三人、増減なし
- 就業規程の改正について
- 職員の再雇用に関する規程の改正について
- 職員の再雇用延長に関する規程について
- その他
 - ❖部会の再編案について
 - ❖実績見込みについて

❖最近の動向について

❖その他

★二九年度第十二回

三十年二月二六日(月)

議事

- 入退会者承認について(一月)
入会一人、退会八人、六人減
- 育児・介護休業等に関する規則改定について
- 旅費規程改定について
- 職員給与規程改定について
- 一、管理職手当
- 二、超過勤務規程
- 職員就業規則改定について
- その他
 - ❖平成三十年度職員採用について
 - ❖最近の動向について
 - ❖その他

★二九年度第十三回

三十年三月十六日(金)

議事

- 入退会者承認について(二月)
入会六人、退会〇人、六人増
- 平成二九年度補正予算(案)について
- 平成三十年度事業計画(案)について
- 平成三十年度予算(案)について
- (介護予防)訪問介護運営規程の作成

改定について

○その他

❖最近の動向について

❖その他

新部会の活動内容と今年のテーマ

広聴広報部会

大矢 英夫



平成三十年度より専門部会が六部会から四部会に再編成されました。今年二月十三日に新専門部会が開催され、広聴広報部会の担当となりました。

正直のところ、広聴広報の仕事は今迄経験した事がなく、今後は部会の皆様や関係する方々にもご迷惑をお掛けする事も多々あると思いますが宜しくお願い申し上げます。

合同部会の後、第一回広聴広報部会が開催され平成三十年度の活動計画を検討、次の四項目を重点に活動することとしました。

- ①広報誌の編集発行
- ②メディアの活用(情報収集及び発信)
- ③周知活動(イベントやチラシの作成)

④入会案内資料等の管理

部会ではみなさまから沢山の声をお聞きし、様々な情報をお届けする事により、柏崎市シルバー会員のみなさまが楽しく仕事が出来、より活性化につながると考えております。

多くのみなさまから沢山の情報をお待ちしております。

安全衛生部会

栗田 哲雄



シルバー人材は、平成三十年年度より部会活動についての見直しと編成替

えにより、従来の安全部会の安全就業に加え、会員の健康管理等を含め安全衛生部会となりました。

このことから、平成三十年年度の安全目標を「点検・声かけで事故防止！健康で無理せず安全就業！つもり・はず・たぶん・だろうが事故のもと」そして、安全テーマを「現場確認とルールを守って安全就業」作業前の現場確認の徹底と会員としてのマナー、守らなければならぬルールを再認識し、「一人ひとりが全体の評判になるよう」を合い言葉に、安全就業を進めていきたいと思えます。また、力を入れている危険予知

を意識した活動を、さらに推進します。

今年度新たな安全実施計画では、朝礼時、声かけシートによる安全唱和の実施、指差呼称の徹底強化を含め四項目の実施計画を掲げました。

当シルバー人材会員が無事故故を目標に、健康で安全就業ができれば、一層のご協力をお願い致します。

女性活躍部会

村山 直江



▼平成三十年年度活動内容

・手芸教室

月二回（第二、

第四木曜日）

四月～十一月実施

・来年の干支作り

手芸の先生にご指導をお願いし、作品はシニア作品展・じまん展に展示、「やまゆり」にて安価で販売する。

手芸教室参加者、新入会員も募る。

・チラシ配り

企画推進部会と合同で市内のイベントの際、シルバー人材センターのPR活動

・視察

県内のSCで女性部の活動を見学し、参考にします。

・料理講習会

会員の男女問わず参加でき、身近な食材で、高齢者向けの料理を作る。

・健康教室、女性会員の集い

三月に実施、平成三十年度は徐々にAED講習会を予定。会員、会員の友人、知人も誘い合い、講習会の後は、茶話会を開き、会員の増加とコミュニケーションを図る。

▼今年のテーマ

シルバー人材センターが就業の場だけでなく、会員同志の友達作りの場になり、楽しく、メリハリのある生活を過ごせるよう、活動したいと思えます。

企画推進部会

加藤 聡



新年度からの部会の再編に伴い、新たに企画推進部会ができましたが、

これまでの総務部、事業部、研修部の活動を一つにしたものとなります。

改正された設置規程の中で新たな部会の役割が示されていますが、この示された役割には、



合同部会開催

- ①新規事業の立案
 - ②事業推進のための営業活動
 - ③会員スキルアップ研修の実施
 - ④会員増強に関する事
 - ⑤地域活動の活性化等
- と、かなり重い役割を担うことになりす。
- 今まで三部会で取組んできた活動の検証を行い、新たな役割に沿ったよりよい事業展開を図っていきたく思っています。
- 今までの三部会十三名の部会員から、七名の部会員で役割を担っていかねばならないので、今まで以上に連携を密にしていかなければなりません。
- 新しい部会のこれからの方向付けのため、会員のみなさま及び事務局の助けをいただきながら、部会員が主体となって活動していきたく思っています。

地区	月/日	会場	参加者
半田	10/7	半田コミセン	16名
北条	11/18	藤の家	12名
北鯖石	11/22	中田集会場	6名
比角	11/29	ワークプラザ柏崎	20名
東部	2/16	ハルピン	14名
西山	2/26	いきいき館	20名

地区の動き (平成29年度)



半田



東部



北条



西山



北鯖石

平成30年度 主な行事予定

4月	地区委員長会議[16日(月)]
6月	定期総会兼会員研修会[20日(水)]
7月	児童クラブ補助員養成研修
7月	安全・適正就業強化月間
9月	地区委員長会議
9月	ワークプラザ柏崎感謝祭[16日(日)]
9月	ハウスクリーニング講習
10月	事業普及啓発促進月間
10月	シニア作品展・じまん展
10月	手芸講習会(来年の干支作り)
11月	料理講習会
11月	新総合事業サービス担い手養成研修
12月	会員忘年会
3月	安全推進員及び職群班合同会議
3月	女性会員の集い



比角

事業普及啓発促進月間
(平成29年10月1日～31日)

全地区
クリーン作戦実施

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」(平成五年から開始)が例年の通り十月の一月間、実施されました。

「事業普及啓発促進」の趣旨を踏まえ、毎年当シルバーでも会員のボランティア活動として、各地区でクリーン作戦を展開しています。

今年もシルバーの日(十月十四日)を中心に、各地区で多数の会員と職員も参加して、無事クリーン作戦を行いました。



地区	班	実施日	人数(人)
東部	1～5班合同	10/14	12
比角	1～2班合同	10/14	5
	3～5班合同	10/14	3
	6班	10/14	6
	7班	10/14	3
	8班	10/21	5
西部	1～2班合同	10/14	2
海岸	1～4班合同	10/13	5
枇杷島	1～2班合同	10/14	8
	3班	10/14	3
	4～5班合同	10/14	7
田尻	1～4班合同	10/15	28
高田・上条	1～4班合同	10/14	12
松浜	1～6班合同	10/14	10
北鯖石	1～3班合同	10/7	8
西中・中通	1～3班合同	9/23	10
	4～5班合同	9/25	9
	6班	10/15	11
北条	1～2班合同	10/14	9
中・南鯖石	3～6班合同	10/14	9
黒姫	1班	10/14	5
剣野	1～2班合同	10/14	14
	3～4班合同	10/14	14
半田	1～2班合同	10/7	22
西山	1～6班合同	10/14	15



西中・中通地区 4~5班



西中・中通地区 1~3班



北条地区 1~2班



西中・中通地区 6班



黒姫地区 1班



中・南鯖石地区 3~6班



剣野地区 3~4班



剣野地区 1~2班



西山地区 1~6班



半田地区 1~2班



会員忘年会開催

平成二九年十二月十六日(土)、柏崎市産業文化会館にて一三〇名の参加を得て開催されました。櫻井市長からご挨拶を頂き、またガラポンもありみなさま楽しい時間を過ごされました。

シニア作品展・じまん展開催

平成二九年十一月十一日(土)、十二日(日)、ソフィアセンターにて市老連主催、シルバー人材共催で開催されました。シルバーの会員からも多くの作品が展示され、多くの人が関心を持って鑑賞されておられました。

「ワークプラザ柏崎」感謝祭開催

平成二九年九月十七日(日) 感謝祭が開催されました。今年のテーマは「笑い」、笑顔で感謝を込めてお客様をお迎えました。台風接近で悪天候のなか、大勢の来場者で賑わいました。

各種研修会報告

○介護職員初任者研修

期間 平成二九年十月十二日～十一月二四日
参加者 八名
内容 旧ホームヘルパー2級【資格所得】の為の技能を習得しました。

○新総合事業サービス担い手養成研修(訪問介護員の養成研修)

期間 平成二九年十二月一日、四日、五日
参加者 二三名
内容 シルバー人材センターの会員として、介護の仕事に就く為の技能を習得しました。

女性部会の活動報告

○手芸講習会(千支作り)

開催日 平成二九年九月一八日
十月十二日、二六日
参加者 各十六名

○料理講習会

開催日 平成二九年十二月十五日
参加者 二四名

○健康教室(タイ式ヨガ)

開催日 平成三十年三月十五日
参加者 二十名

館林市SCへの視察

村山 直江

私達女性部会は、昨年十一月二四日、昔ばなし「文福茶釜」や、つつじで有名な群馬県館林市シルバー人材センターへ視察に行ってきました。

先方三人、当方七人での懇談会は、運営状況の説明を頂き、その後質疑応答を行いました。

館林市は人口七万七〇〇〇人に對してシルバー会員は三二七人(男一九〇人、女一三七人)です。



独自事業は会員主体となつてまゝとまて運営しています。
・リフォーム、手工芸業務
作品はセンター内のショップで週一回、年間に市内での十二回程のイベントに参加し、成果を上げている。
・刃物研ぎ業務
市内の業者が廃業したため、求められて実施。
・補習塾業務
教職退職者十四名で運営され、現在は市より「子供学習支援事業」を委託され、生活保護者対象に支援を行っています。素晴らしい事業だと感じました。
作品作りや運営もヒントになり、今後の活動の参考にしたいと思ひます。とても有意義な一日でした。

就業相談室開設

未就業の方々や現在の就業に満足出来ない方々のお気持ちを聞き、より良い就業が出来るような相談室を毎月1回13時から16時頃まで開設いたします。

ご希望の方は必ず電話予約をしてください。

開設予定日

4月18日(水) 5月23日(水) 6月19日(火)
7月18日(水) 8月22日(水) 9月19日(水)

平成30年度 定期総会兼 会員研修会のご案内

日時 平成30年6月20日(水)
13時より

場所 柏崎市産業文化会館1階
駅前2丁目

詳細は後日、ご案内いたします。

やまゆり通信

今年度は「シルバーふれあいサロンやまゆり」の関係者説明会を開催し、一四〇人の当番(ボランティア)の方、野菜・フリーマーケット・手作り作品等の出品者の方にお集まりいただきました。

よりよい「やまゆり」になればと皆さんの意見交換をさせていただきました。

十一月二十八日、三十日と準備した席が足りなくなるほどの大勢の方に参加していただき、ありがとうございました。



「やまゆり」おもなイベント報告

★九月十七日(日)

ワークプラザ感謝祭に出店

★十月八日(日)

比角ストリートフェスティバルに出店

★十月十五日(日)

越後柏崎えんま祭りに参加

★十月二十二日(日)

ぱくもぐフェアに出店
大洲コミセン祭りに出店



越後柏崎えんま祭り 理事長参加

ボウリングで 体力UP!



シルバー会員特典
3ゲーム(靴代込み)
1,010円

料金支払いの際シルバー会員証を提示して下さい。

ポップボウル柏崎

柏崎市茨目 2-8-21
TEL 0257-41-6041

編集後記

二〇一八年はピョンチャンオリンピックが続くパラリンピックで幕が開き、そして六月十四日にはサッカーワールドカップとスポーツの大きな大会が続きます。

オリンピックでは、アスリートたちの活躍が連日テレビで伝えられ、人々に興奮と感動を与えました。

観戦するだけでなく、自分でも体を動かす時間を作りたいと思う毎日ですが、実現するのはいつのことやら。

めざせ・東京二〇二〇オリンピック?
(山川)

平成30年度 年会費納入について

昨年と同様、配分金から年会費を差し引く期間が3月分(4月16日振込分)から8月分(9月18日振込分)までとなります。よろしくお願いたします。

※派遣事業の賃金からはお引きできません。また、配分金が2,000円より少ない月はお引きできません。ご了承下さい。

『やまゆり』無料パソコン相談コーナー

毎週、金曜日午後1時～3時まで開いています。
お気軽においでください。